

11

令和5年度 団体

活用実績報告集

11の団体が行った事業の記録集

令和5年
4月1日



令和6年
3月31日

iwakura-shi siminkatsudou-joseikin
Reiwa 5endo katsuyou-jisseki-houkokusyu
11 no dantai-ga samazamana-jigyuu-wo okonatta kirokudesu.

通年実施

はじめの
一歩
コース

■グラッチェ



市民提案 公益的 事業コース

■岩倉ボランティアサークル



■ミズベリング岩倉・五条川



■メディカルサポートあざりあ



■いわくらい部♪



■おむすび

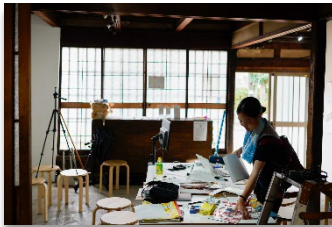


行政提案 協働事業 コース

■いわくらにほんごクラス



■プロジェクトスペース「hazi」事務局



■地域のしあわせを考える会



■HLC・ふれあい塾



■一般社団法人はーとプロジェクト
(おりぶおりぶ岩倉)



令和 5 年度市民活動助成金活用実績報告集もくじ

1. 令和 5 年度の市民活動助成金制度の説明
2. 令和 7 年度市民活動助成金の応募から実績報告書提出までの流れ

通年実施：令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

《はじめの一步コース》

3. アミーゴスキッチン 【グラッチェ】

《市民提案・公益的事業コース》

4. 五条川で SUP を広めよう！ 【ミズベリング岩倉・五条川】
5. 医療福祉分野の有資格者による安心して住み続けられる町づくりに貢献する
ボランティア事業 【メディカルサポートあざりあ】
6. ワクワク！おおきなみんなのおさるのまち！ 【岩倉ボランティアサークル】
7. 寺おん×縁日 2023 【いわくらしい部♪】
8. 子ども応援事業 【おむすび】
9. R.E.Award(Residence&Exhibition Award)の実施
【プロジェクトスペース「hazi」事務局】
10. いわくるくるネットワークを創ろう☆ 【地域のしあわせを考える会】

《行政提案・協働事業コース》

11. 外国人向け「はじめての日本語教室」の実施 【いわくらにほんごクラス】
12. スマホ活用支援講座の開催 【HLC・ふれあい塾】
13. いわくら・みんなのサロン
【一般社団法人はーとプロジェクト（おりーぶおりーぶ岩倉）】

14. 令和 6 年度市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

市民活動助成金についての問い合わせ先

岩倉市市民協働部協働安全課市民協働グループ（市役所 6 階）

Tel : (0587) 38-5803

e-mail : kyoudou@city.iwakura.lg.jp

市民活動助成金についての相談窓口

岩倉市市民活動支援センター 岩倉市昭和町二丁目 17 番地 市民プラザ内

Tel : (0587) 37-0257

e-mail : info@iwakura-plaza.jp

令和 5 年度市民活動助成金制度の説明

岩倉市市民活動助成金とは

地域が抱える諸課題の解決を図り、市民の福祉向上やまちづくりに貢献するなど、市民活動団体が主体的に取り組むモデル的な事業に対して財政支援を行い、団体活動の活性化や市民活動の拡充を図るものです。かつ特性を生かして協働するマルチパートナーシップの取組の促進を図っていく制度です。

応募された事業については、目的、事業内容などを公開の場で発表する「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金の額を決定します。

※市内に拠点のある法人格を有する事業者も応募できるコースができました。

助成の種類及び助成額

① 《立ち上がり支援コース》

新たに立ち上げた公益性を有する団体、設立から 1 年以内の団体の活動の基盤づくりに助成します。

助成回数：1 団体 1 回 **補助金額**：限度額 2 万円 **補助率**：50%以内

② 《はじめの一步コース》

設立から 3 年以内の助成対象団体が行う公益性を有する事業（3 年以上継続予定）に助成します。

助成回数：1 団体 1 回 **補助金額**：限度額 5 万円 **補助率**：90%以内

③ 《市民提案・公益的事業コース》

団体が解決を目指す地域の公共的課題について、自らテーマを設定し提案する公益性を有する事業に助成します。

助成回数：同一事業 最大 3 回 **補助金額**：限度額 10 万円
補助率：50%以内

④ 《行政提案・協働事業コース》

行政があらかじめ設定した（行政課題）テーマに対して、団体が自らの特性を生かして提案する行政と協働で取り組む事業に助成します。

助成回数：同一事業 連続 2 回 **補助金額**：限度額 30 万円
補助率：100%以内

※ 他の団体と協働して行う場合には、②,③コースの補助率を 10%加算します。

◆ 立ち上がり支援コースは、令和 5 年 10 月～令和 6 年 3 月までに実施する事業を、令和 5 年 7 月に追加で募集しましたが、応募はありませんでした。

※ 令和 6 年度の助成団体は、14 ページに掲載されています。

※ 令和 7 年度の募集に関しては、令和 6 年 11 月中旬に公表する予定です。

令和 7 年度市民活動助成金の 応募から実績報告書提出までの流れ

《通年実施事業》

令和 6 年 11 月中旬	: 市民活動助成金説明会 & 個別相談会
12 月上旬	: 申請書類受付 開始
12 月下旬	: 申請書類受付 締切
令和 7 年 2 月中旬	: 企画提案発表会
3 月下旬	: 内定通知
4 月上旬	: 決定通知
4 月～	: 助成金事業開始
事業終了後 30 日以内	: 実績報告書の提出

《下半期実施事業》

令和 7 年 7 月	: 立ち上がり支援コース 追加募集予定
7 月上旬	: 市民活動助成金説明会 & 個別相談会
7 月上旬	: 申請書類受付 開始
7 月下旬	: 申請書類受付 締切
9 月上旬	: 決定通知
10 月～	: 助成金事業開始
事業終了後 30 日以内	: 実績報告書の提出

アミーゴスキッチン



事業総額 151,068 円 対象経費 151,068 円 助成額 50,000 円

・主に講師料、食糧費として利用 協働団体：岩倉ボランティアサークル

◆目的

- ・ブラジル文化や言語、生活に楽しみながら触れ、逆に日本文化や言語、生活に触れ、その経験で異文化への理解を深める。言語の面で家族との間に問題を抱えているケースが多い。

◆事業報告

【内容】《ドキドキ 1泊2日でブラジル体験》

- ・6/17(土)①ブラジルタイム ②ブラジル食体験(フェジョアータ) ③交流会 (オンライン交流)
- ・6/18(日)①ブラジル食体験(ミストケンチ) ②ブラジルタイム ③交流会 (オンライン交流)
- ・日本語やポルトガル語で手紙を書き手紙を読む。料理の作り方でオンライン交流する。
- ・岩倉市内児童(小学3年～6年生)19人・サンパウロ市内児童(小学1年～中学3年生)6人
ボランティアスタッフ 日本10人・ブラジル6人

【成果】

- ・ブラジルの料理を食べ、どんな国か知り、レクリエーションを楽しんだ。
- ・あっという間に仲良くなって、ブラジルについて知ったことを発表する際や調理活動では、協力し合い活動できた。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

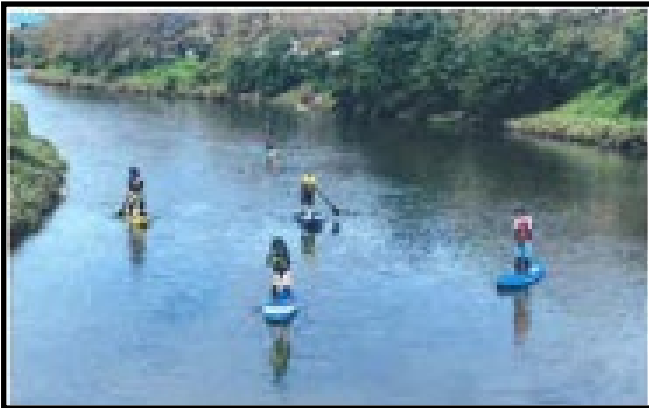
- ・外国人にイベントを認知させたり、参加してもらう点が苦労した。
- ・日本へ留学に来たブラジル育ちの講師2名をお招きし、より身近にブラジルを感じられた。
- ・初めての活動(オンライン交流、料理)が多く、準備不足、スタッフの教育不足が目立った。

【改善等】

- ・今年の活動を通じて準備や研修を行っていく。料理も日本の食文化に合わせて調整する。

❖ ミズベリング岩倉・五条川

五条川で SUP を広めよう！



事業総額 55,441 円 対象経費 55,441 円 助成額 22,000 円

・主に備品購入費、謝礼として利用

◆ 目的

- ・「かわまちづくり」事業の一環で、五条川の水面を利用したサップウォーク等観光資源の掘り起こしを行う。環境改善活動を実施するには、経験者や機材が必要で SUP 体験会を継続的に実施したい。

◆ 事業報告

【内容】

- ・令和 5 年 8 月 19 日 五条川下流部 参加人数 25 名 (サポートメンバー含む)
- ・川井町児童公園において名古屋 SUP 推進協議会の講習会を実施した。
- ・参加者全員により機材準備を行い、五条川の下流部において、班に分かれて SUP 体験を行った。

【成果】

- ・今回は体験会への応募者が多く、若い年齢層の参加者があり、五条川で SUP ができるとの喜び、手軽に SUP を楽しめる場所が近隣にあること、比較的習得の早いアクティビティのため楽しいなど、参加者から体験会を歓迎する声を多く頂いた。

◆ 課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・広報及び地元情報誌に掲載、SNS で発信することで定員を早期に一杯にできた。
- ・市民団体「メディカルサポートあざりあ」に協力を依頼し、当日の安全確保を行った。
- ・「ナゴヤ SUP 推進協議会」に指導を依頼して、クオリティの高い体験会を開催できた。
- ・8 月開催は、参加者募る良い時期だが、熱中症の心配のため、時期変更の考慮が必要。

【改善等】

- ・次年度以降の開催は、開催時期の前倒しを検討し、梅雨前の開催も検討したい。ただし、五条川の水位状況も考慮する必要があるため、関係者と調整を図りたい。

❖ メディカルサポートあざりあ

医療福祉分野の有資格者による安心して住み続けられる町づくりに 貢献するボランティア事業



事業総額 59,526 円 対象経費 55,959 円 助成額 27,000 円

- ・主に消耗品費、備品購入費として利用

◆ 目的

- ・医療系の専門性をもった団体と行政が連携し、救護支援を行い安全と安心を確保する。
- ・「応急手当普及員」の資格を取得し、市民講習や実際の現場での支援活動を行っていききたい。

◆ 事業報告

【内容】《救護所支援活動》

- ・5/21 (日) 東京大衆歌謡楽団
- ・8/19 (土) SUP 体験会
- ・10/21 (土)・22 (日) 岩倉ダンスフェスティバル&ディズニーパレード
- ・2/11 (日)・12 (月) ミニいわくら 2024
- ・3/30 (土) 岩倉桜まつり 岩倉街道山車巡行とからくり実演 その他

【成果】

- ・岩倉市役所や市民団体からの要請により、救護所支援活動を実施した。
- ・ケガや熱中症などの手当を実施し、イベントを救護の面でサポートした。

◆ 課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・現時点で当団体がサポートできる事を実践した。回数を重ねるに事により、何をすべきかをメンバーが個々で判断できるようになり、円滑に活動する事ができた。
- ・応急手当普及員の資格取得を予定してたが、メンバーが集まらず実現できなかった。

【改善等】

- ・活動範囲を広げる為にも医療従事者メンバーを増やす事を最優先にし、引き続き活動を継続したい。

ワクワク！おおきなみんなのおさるのまち！



事業総額 133,563 円 対象経費 133,563 円 助成額 4,000 円

・主に謝礼、保険料、人件費、消耗品費として利用

◆目的

- ・人気アニメ(絵本)の世界からヒントを得て、仲間と一緒に創り上げ、協調性や達成感を共有。
- ・テレビの世界を実現することで、何事にも挑戦するという気持ちを高め、次への想像力を育む。

◆事業報告

【内容】

- ・12/2(土)・3(日) 青少年宿泊研修施設「希望の家」 参加者 25 人
- ・内容:「おさるのジョージ」の世界からヒントを得てお菓子づくりや町作りの体験活動
- ・プログラム:班別レクリエーション、ダンボールの町作り、バナナを使ったお菓子作り
- ・3/20(水) 反省会・アンケート結果振り返り

【成果】

- ・事業目的の「協調性や達成感を共有する」は達成することができた。
- ・自分達で話し合い役割分担を決めて、班から離れることなく協力して作り上げた。
- ・作り上げたものの説明やこだわりを他の班の子たちと語り合い、認め合う様子が見られた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・想定していたよりも町の規模が大きくなり、ダンボールが不足し少し寂しい感じになった
- ・仲間と熱中して町作り・お菓子作りをしたことで、班内の仲も深まり結束力も高まった。
- ・先に食べ終わった班が時間を持て余した。

【改善等】

- ・ダンボールが不足して、それにより小規模な町になった。試作段階でしっかり考える
- ・お菓子作りは研修日数不足で失敗場面が有り、少し研修日数を増やす必要がある。

寺おん×縁日 2023



事業総額 75,473 円 対象経費 75,473 円 助成額 30,000 円

・主に謝礼、印刷製本費、備品購入費として利用 協働団体：HappineSS

◆目的

- ・お寺離れの近頃、地域の居場所として音楽の演奏や自己実現ができる場としてイベントを開催。
- ・お寺に人が集う機会が増え、地域の賑わいとコミュニティを取り戻すきっかけとなる。

◆事業報告

【内容】

- ・5/28（日） 長遠寺及び夢さくら公園 10:00～15:30
- 1. 夢さくら公園にて縁日マルシェ開催 八剣区が共催団体に公園を借用。手作り品、花苗、障害者施設のクッキーの販売。Mugi ストローライフ岩倉、ミズベリング岩倉五条川出展。
- 2. 長遠寺本堂から境内に向けて音楽ライブ開催 ゲストや岩倉総合高校や芸大生の音楽ライブ。
- 3. ボランティアで音響、ブース管理、駐車場、会場案内など担当 岩倉総合高校生が活動。
- 4. 6/10（土）反省会

【成果】

- ・八剣区は共催として回覧板で案内してくれた。歩いて参加の方も多く見かけた。
- ・岩倉総合高校生徒、名古屋芸大生も参加。若者と地域の大人のつながりができた。
- ・老若男女が、音と・モノ・体験・食でつながり、人の輪が広がるイベントとなった。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・公園利用に関して八剣区に協力を頂いた。それによりキッチンカーを公園に配置できた。
- ・のぼりを立てたことで会場間のルートが分かりやすくなった
- ・開催に慣れて出演者との確認事項に抜けがあった。駐車場の整理でかなり手間取った。

【改善等】

- ・メンバー間でトランシーバーを各箇所の担当者が持っているといい。
- ・出展者、出演者への説明用チェックシートを作成して事前確認をしっかりとる。
- ・車のダッシュボードに参加者名と連絡先を記入したものを置くなど必要か。

❖ おむすび

子ども応援事業



事業総額 178,786 円 対象経費 178,786 円 助成額 93,000 円

・主に消耗品費、会場使用料、備品購入費として利用 協働団体：コミュニティカフェかがよひ

◆目的

- ・年齢を越えた交流、地域の人達との触れ合いで助け合い支え合いが自然とできる場が必要。
- ・学区に一つの子ども食堂ができれば、子どもの居場所が増えて様々な支援につながる。

◆事業報告

【内容】

- ・子ども食堂 東町会館 9回実施
7/25, 8/22, 9/19, 10/24, 11/28, 12/26, 1/23, 2/27, 3/26
- ・泥んこ遊び 倍田イベントと協力 6/10
- ・子ども弁当配布 王将フードサービス提供 7回実施
4/2, 8/2, 8/9, 8/23, 8/30, 12/27, 1/10

【成果】

- ・開催場所が変わったことで頻度は落ちたものの、継続して続けることができている。
- ・ボランティアで協力してくれる方の人数が増えた。一番多いときでは6名のボランティア参加があった

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・今まではその場で調理、提供ができたが、今はすべての準備をしてから持ち込む形なので、毎度準備、片付けに非常に時間がかかる。月1回から回数を増やすことができていない。

【改善等】

- ・もう少し自由度の高い場所をこれからも探しつつ、ボランティアの力を借りて、このままの頻度を落とさずに開催できるようにする。
- ・暖かくなってきたら駐車場などを借りて、野外での開催など新しいやり方を検討。

R.E.Award (Residence&Exhibition Award)の実施



事業総額 440,700 円 対象経費 200,000 円 助成額 85,000 円

・主に謝礼として利用

◆目的

・市民の関わりシロ創出、アーティストの活動支援、hazi の認知度を高めることを目的に、ASP と協働する。岩倉の文化資源に対してのリサーチを期待している。

◆事業報告

【内容】

- ・インドネシアに拠点がある ASP と協働し、年齢制限を設けない形式で広く公募し、国内から 18 組応募の中から 3 組を選出。
- ・1/31 応募締切、2/1 選考、3/3 R.E.Award 選出のアーティストとのトークイベント、7/29 篠田ゆきオープンスタジオ及び報告会、2/25 R.E.Award 報告会
- ・7/10～30 篠田ゆき hazi 滞在、12/2～1/6 篠田ゆき ASP 滞在、2/27～3/20 平井亮汰 ASP 滞在、田上碧の滞在は 4 月以降を予定。

【成果】

- ・今回の事業を通してアーティストとの実践を通して世界の境界線の引き直しを試み、これまでの関係や経験上の枠を超えて、小さいかもしれませんが新たな表現が立ち上がるきっかけを創出できたのではないかと考えている。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・hazi だけの開催でなく、インドネシアの ASP との協働で行う事業でした。
- ・公募型のプロジェクトだったため、レジデンスを必要としているアーティストなどに自分たちのスペースを宣伝できた。

【改善等】

- ・海外のスペースと一緒にすることで認知度は広まったものの、国内のアーティストからは ASP 人気が高かったのは否定できませんでした。次回は英語版広報物を用意することで、アーティストに宣伝し、岩倉に異なった文化の様子を届ける事が出来ればと考えている。

❖ 地域のしあわせを考える会

いわくるくるネットワークを創ろう☆



事業総額 161,429 円 対象経費 161,429 円 助成額 75,000 円

・主に謝礼、印刷製本費、食糧費として利用

◆ 目的

- ・「知る」をテーマに市民の福祉重視のまちづくりを行うことで、様々な課題を解決していく。
- ・相互理解が深まり横のつながりが強くなる。市民の声を分析することで様々な取組に活かす。

◆ 事業報告

【内容】

- ・町内会ワークショップ 6/24、2/24 市民プラザで開催 参加者 15 名と 21 名
- ・古代小麦プロジェクト 7/15・16 収穫、11/25・12/6 種まき・製粉加工、12/23 パン作り、参加者のべ 28 名
- ・いわくら健幸スイーツ 7/15 リハーサル、8/5 生涯学習センターで開催 参加者 29 名
- ・ホームページお披露目新年会 1/27 オフ会、新年会として開催 参加者 16 名
- ・フェイスブックグループ 年度を通して実施 メンバー 約 100 人増

【成果】

- ・現役の町内会役員の人達の協力を得られ、今後の方向性がはっきりしてきた。
- ・古代小麦プロジェクトは、種まきができ、市内の認知が広がり、製粉しパンまで作れた。
- ・フェイスブックグループのメンバーでオフ会ができた。

◆ 課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・いわくら健幸スイーツは市内の野菜ソムリエの方の協力を得て、地産地消の話ができた。
- ・町内会ワークショップの今までのまとめと方向性を小冊子にしたかったが、時間が足りず後日ホームページに掲載する形に変更。ホームページの内容充実についても時間が足りない。

【改善等】

- ・各ワークショップに関わりのある人達に、サポートメンバー（仮）になってもらい、少しずつでも協力してもらえるようにしたい。
- ・運営に参加できる人を募集したり、発掘の声掛けをする。

❖ いわくらにほんごクラス

外国人向け「はじめての日本語教室」の実施



事業総額 300,295 円 対象経費 300,295 円 助成額 300,000 円

- ・主に謝礼、人件費、消耗品費として利用

◆ 目的

- ・日本語が話せず、地域社会に溶け込めない、生活に苦勞している人が市役所、学校、職場等で相談したり、町で日本人と話をするチャンスを生み出す。多文化共生の土台を作りたい。

◆ 事業報告

【内容】

- ・教室の実施 下記期間の土曜日（各期間 全 8 回）、10:00～12:00、市民プラザ
第 1 期 5 月～6 月、第 2 期 9 月～10 月、第 3 期 1 月～2 月
- ・サポーターミーティング 6/22、7/22、12/16、3/23
- ・日系ブラジル人人材派遣会社講話 6/22・救命講習（講師：岩倉市消防署）12/2
- ・防災講話（講師：協働安全課防災安全グループ）1/20

【成果】

- ・期をまたいで継続参加する学習者が増えた。
- ・学習者も日本語サポーターも各々の生活で多文化共生を意識している。
- ・今年度は、子ども連れの学習者が多く、子どもと一緒に参加できる雰囲気であることも、学習者にとって参加のハードルを低くすると感じた。

◆ 課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・継続率が高かった。メールや LINE、SNS での前日リマインドを徹底した。
- ・ミーティング・ディスカッション等を通して活動のアップデートに、クラスの理念を言語化。
- ・地域の人もやさしい日本語や多文化を知る機会があると、多文化共生への意識が芽生える。

【改善等】

- ・今年度は、市へ転入届をだす外国人への案内を依頼し、当クラスの活動を知ってもらえた。
- ・地域課題を考える『未来寄合』にも役員が参加し、認知拡大を目指した。
- ・岩倉団地や地域の飲食店、クリニックなどにも活動の紹介やチラシの設置を目指す。

❖ HLC・ふれあい塾

スマホ活用支援講座の開催



事業総額 229,583 円 対象経費 229,583 円 助成額 229,000 円

・主に人件費、印刷製本費として利用

◆目的

・デジタル化が進む一方、その波に対応できず、情報弱者となり取り残されていく市民を手助けする。対応できる市民が増えれば、市民へのサービスを効率的に行なうことができる。

◆事業報告

【内容】

・7/8（土）～12/23（土） 6回開催

内容：スマートフォンの取り扱いを基礎から習得できる講座

前年度の反省と改善を踏まえて、6回開催した。

場所：総合体育文化センター・市民プラザ・さくらの家、南部老人憩いの家他

参加者数：第1回13名、第2回13名、第3回10名、第4回10名、
第5回(14名)、第6回(11名) 各2回ずつ実施(合計71名)

【成果】

- ・難易度は高かったが、ほぼ70%の人が理解できた。
- ・指導を希望する内容や進め方の方向が確立できた。
- ・指導講師のレベルアップが図れた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・受講生の多岐にわたる要望に可能な限り応え、担当者を身近に配置、操作練習に多くの時間をさき、高い評価を得た。
- ・受講希望者が定員未達に終ったり、欠席があって当初予定の90名に足らなかった。

【改善等】

- ・次の機会があれば、参加希望者から、受講料（資料代相当）の徴収が出席を促すと推測する。
- ・偽メールなど特殊詐欺の事例を幅広く紹介し、被害防止など身近な問題を進める。
- ・講師陣のさらなるレベルアップを図る。

いわくら・みんなのサロン



事業総額 348,736 円 対象経費 330,736 円 助成額 300,000 円

・主に旅費、備品購入費、会場使用料、人件費として利用

◆目的

・不登校児を抱える家族の問題に寄り添える居場所づくりが必要。地域に気軽に相談ができる場をつくることで、将来の就労や生活に結びつけ、生活保護や精神的な二次疾患を減らす。

◆事業報告

【内容】

- ・令和5年4月～令和6年3月、第4土曜日10時～12時、場所：おりーぶおりーぶ岩倉
- ・内容：ペアレント・トレーニング、ドッグセラピー、学習支援、親子クッキング、親子レク（さいころゲーム、ボードゲームなど）、当事者による講演会、療育支援研修会など
- ・参加人数：延べ185名（大人100名、子ども85名 / 実数大人16名、子ども17名）

【成果】

- ・子どもの特性を知ることによって理解を促し、具体的な関り方を学べた。
- ・客観的な見方を学び、関係者などに我が子の強み弱みを具体的に伝え、見通しを付けられた。
- ・安心できる場を提供することで内に秘めたる思いを発信する。また小グループ活動で様々なことにチャレンジしながら自信をつけ、少しずつ学校に足が向くようになってきた。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・子どもたちのテンションがありすぎ、声が聞こえにくかった。
- ・親の過干渉から切り離し、子どもが自分の強み弱みを見つけ自己解決ができるように導いた。
- ・人数が多くなってきたことで、細やかに話を聞くために時間が間延びしている。

【改善等】

- ・2年間の学びを通じて、親が他児の親に客観的に具体的な支援をする。
- ・地域で活動することで、同様な親子の支援や学校等の教員に対する支援を行う。
- ・子どもたちがどんどん成長する姿を見て寄り添っていくことが大切。

令和6年度 市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

番号	助成回数	団体名	事業名	内容
◇市民提案・公益的事業コース(団体が解決を目指す地域の公共的課題について、自らテーマを設定し提案する公益性を有する事業)				
1	1/3	ライトサロンいわくら	白杖による歩行訓練	盲学校での生活機能訓練を受けていない視覚障がい者を対象に、視覚障がい者の安全・安心な外出に繋げられるよう正しい白杖の使い方の練習と白杖による歩行訓練を行う。
2	1/3	東海つばめ学習会 岩倉教室	経済的に厳しい家庭の子どもたちに学習支援活動を行う事業	毎週日曜日の午後、生涯学習センター等の会議室で、学習機会に恵まれない子どもたち(小中高校生)を対象とした学習会を開催する。
3	1/3	まちづくり百貨店	オープンファームを通じた農業者と市民の交流	市民が農作物の収穫体験を行うオープンファームの実施に加え、講演や意見交換等、農業者と市民が交流するイベントを実施する。
4	2/3	岩倉ボランティアサークル	ウォーターバトル!カラフル大作戦	子どもたちで協力して作ったものを子どもたちの手で守るという体験を通して、協調性・コミュニケーション能力をはぐくみ、達成感・やる気を引き出すためのイベントを実施する。
5	3/3	ミズベリング岩倉・五条川	五条川でSUPを広めよう!	五条川でサップウオークの体験会を行う。また、サップを使い、五条川下流部の清掃を行う。 ※SUPとは「Stand Up Paddleboard」の略称で、ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進む、ハワイ発祥のウォータースポーツ。
6	3/3	いわくらしい部♪	寺おん×縁日2024	「お寺」での音楽ライブと縁日型マルシェの地域密着イベント『寺おん×縁日2024』を開催する。
7	3/3	プロジェクトスペース「hazi」事務局	アート系プロジェクトスペース「hazi」で、高梨麻梨香の個展開催とそれに関わるイベントの実施	音を用いたインスタレーション作品を制作しているアーティストと協働し、展覧会およびイベントを開催する。また、岩倉のまだ見ぬ音風景の創出を試みる。
◇行政提案・協働事業コース(市が解決を目指す行政課題について、あらかじめ設定したテーマに基づき、団体が自らの特性を生かして行政と協働で取り組む事業)				
8	1/2	地域のしあわせを考える会	いわくるくるネットワークを創ろう☆	町内会役員等を対象に、持続可能な町内会(行政区)のあり方を学びあう事業として、町内会に関する意見交換や町内会見学ツアー、住民による住民のための“町内会未来セミナー”を実施する。

団体のイベントなどをホームページやSNSでもご覧いただけます

ホームページ



メルマガかわらばん



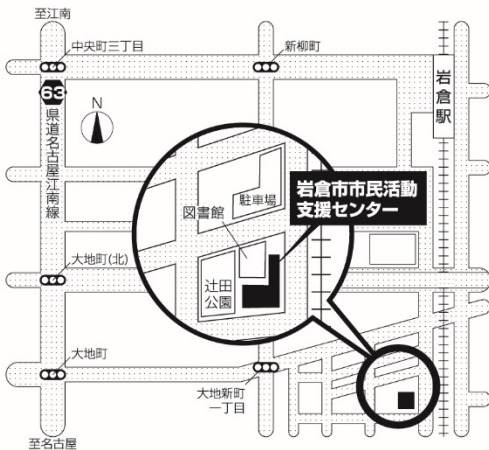
公式LINE



Instagram



岩倉市市民活動支援センター



駐車場は建物の南側に11台分、図書館の北側に49台分

- 住所 / 〒482-0011 岩倉市昭和町二丁目17番地
- TEL・FAX / (0587)37-0257
- 開館時間 / 9:00～21:30 ■休館日 / 年末年始
- メールアドレス info@iwakura-plaza.jp
- ホームページ <http://www.iwakura-plaza.jp/shimin/>



🔍 岩倉市市民活動支援センター で検索してください

メルマガ登録はコチラから iwakura_ad@lww.ne.jp



各種SNSで
情報発信してます



岩倉市市民活動支援センター



iwakura_csc



@IwakuraCSC ※旧ツイッター



@ysw7371u